

大河内公民館通信

大河内公民館通信
第 73 号

平成 14 年(2002 年)7 月 1 日

TEL92-0175 FAX92-0176

<http://www.town.kumage.yamaguchi.jp/~okou/index.htm>
E-mail okou@town.kumage.yamaguchi.jp

大河内花いっぱい運動～第6弾～ ～ 実 施 中 ～

今年も生涯学習のまちづくり大河内地区推進協議会の主催により、「大河内花いっぱい運動～第6弾～」を実施しております。

この運動は、大河内地区を緑豊かなきれいな街にしていこうという運動です。

今年の花は、「アメリカブルー」と「パチニア」の2種類です。



6月18日(火)に開催された「園芸教室～アメリカブルーとパチニアの育て方～」を皮切りに、21日(金)に花の苗が配布されました。

今後は、各家庭で大切に育ていただき、9月頃に協議会で各家庭を訪問し審査いたします。優秀者については、秋の大河内公民館まつり(11月)で表彰されます。みなさんがどのように育てられるか楽しみです。

《生涯学習のまちづくり大河内地区推進協議会》

第19回ふれあい夏祭り

♪ カラオケ大会出場者大募集 ♪
～子どもから大人まで誰でも参加できます～

第19回大河内ふれあい夏祭りが、8月10日(土)に大河内小学校グラウンドで開催されます。そこで、今年も「大カラオケ大会」を行います。

右⇒の申込書にご記入の上、大河内公民館までご提出ください。

なお、次号にて「第19回大河内ふれあい夏祭り」のご案内をいたしますのでお楽しみに!!

提出先：大河内公民館
締切日：7月26日(金)
※曲(テープなど)は、当日、各自でご持参ください。

(きりとり)

カラオケ大会参加申込書

曲 名 _____

氏 名 _____

住 所 _____

電話番号 _____

大河内青少年健全育成協議会

広報部 No.18

●昨年度(平成13年度)の主要活動の報告

【三講話の開催】

夏の連絡会議では、関川井坊住職の三池孝道さんをお招きし、「佛心と地域」と題して、三講話を開催いたしました。

【山口大学聴講】

また、秋には会員の親睦も兼ねて山口大学で社会教育にかかわる講義を聴講しました。

【手作りノボリの作成】

あいさつ運動啓発のため、手作りノボリを作成し、大河内公民館前交差点付近に設置しました。

【夜間巡視活動】

町校外育成連盟からの提起を受けて、町内全域の夜間巡視を冬休み以降、

本会の趣旨

この会は、関係団体はもとより地区住民各層の人々と相たずさえ、大河内地区における青少年の健全な育成に寄与することを目指しています。

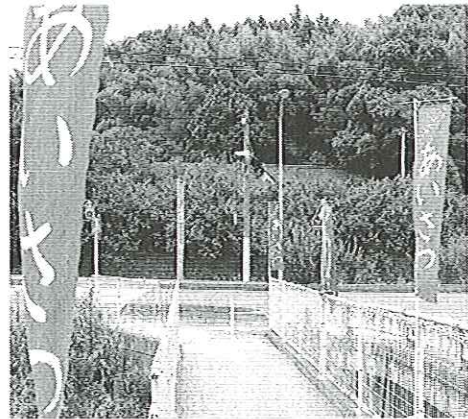
主な活動

- 青少年に関する情報交換
- 青少年の健全な育成について、地区住民の関心を高めるための諸活動

定期的の実施しています。

【大河内美化運動大作戦】

3月31日に大河内地区の「三」を回収しました。



●今年度の活動について

大河内公民館前の交差点は、大河内地区の地理的中心地であり、小学生をはじめ多くの人が通行しています。また車の交通量も多く、交通安全上も注意が必要となっています。

そこで本会では、当交差点を「あいさつ交差点」とし、あいさつ運動及び交通安全の重点ポイントとして、取り組んでいく予定です。

今年度も、遊び心あふれる、心のこもった、多彩な活動を続けていきたいと思えます。

皆様方のご理解ご協力をお願いします。また、ご意見・ご要望等、お寄せください。

家庭教育ノート

Part 1

小・中学生を持つ親のために

この「コーナー」では、文部科学省から発行されている「家庭教育ノート」より抜粋し、シリーズで掲載いたします。

子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思えますか？

「あなたの家庭にもつと望むことがあるか」と子どもたちに聞いたところ、どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。必要なモノさえ与えていれば子どもは育つ、と思えた時代もありましたが、いまや楽しい家庭は家族が意識的に協力し合わなければなかなか得られません。子どもにとつて心安らぐ居場所になつているかどうか、家庭を見つめて直してみましよう。

安らぎのある楽しい家庭をつくる

自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない。

子育ては大事ですが、一日中、わき目もふらずに集中しては疲れてしまい



ます。親のイライラは、子どもにも伝わっていきものです。大変な子育て

てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦で助け合ったり、育児を手伝う仲間や仕組みを活用したりして、「リフレッシュ」する時間をつくりましょう。

親が幸せで笑顔でいる家庭でこそ、子どもも幸せを感じられます。

親がまず幸せになる

話せばわかるとは限らないが、話さなければもっとわからない。

話さなくてもわかり合える関係が、今とても難しくなっています。夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが、家庭づくりのすべての基礎になります。ほんとは夫婦でも親子でも何でも話せる仲であつたいものです。

会話を増やすには、全員で夕食をこる日を決めるなど、できるだけ一緒に食事をし、お互いにその日にあつたことを話すと、朝のあいさつをする、子どもに家事を頼む、一緒にスポーツをしたり地域のボランティア活動に参加したりする、などの工夫をすることが大切です。

会話を増やし、家族の絆(きずな)を深めよう